

## ～がんばる船高生～ **ATTENTION!**

### 第54回 船高アクティブリーダー育成プロジェクト ～地域のリーダーとしての資質・能力を育成～

船高アクティブリーダー育成プロジェクト（以下、船高アクティブリーダー）の活動について、吉田葉月さん（2年 常葉中）、石井康大さん（2年 常葉中）、岡田香央里さん（1年 大越中）に話を聞きました。船高アクティブリーダーでは、東日本大震災の経験を生かし、地域のリーダーとしての資質・能力を高める活動を行っています。

— 最近の活動ではどのような経験をしましたか？

**吉田さん** 東日本大震災が起こった当時、私たちは小学校入学前だったため、当時を振り返るために、昨年10月に双葉町にある東日本大震災・原子力災害伝承館を見学しました。震災当時の緊迫した状況や福島第一原子力発電所の事故により避難をした方々の様子を振り返ることができました。

**岡田さん** 伝承館では、語り部の方からお話を聞く機会がありました。東日本大震災の教訓を生かしながら、次世代に“日頃から備える”こと、さらに、しっかり前を向いて自分たちの生活と向き合っていくことの大切さを教えていただきました。

— 市役所と協働で“災害時の食”についての講座が開かれましたがどのような感想を持ちましたか？

**吉田さん** 今年度、船高アクティブリーダーでは“地域の防災”をテーマに活動を進めています。そのため、“災害時の食”について考えてみる機会が必要だと考え、田村市役所のご協力のもと講座を開いていただきました。実際に非常食を提供していただき、試食もしました。私は病院食のようなものを想像していたのですが、食べてみると普段の食事と同じでおいしく食べることができました。



**石井さん** 栄養士さんからのお話のなかで、災害時にはどうしても栄養が偏りやすいので、日頃から自宅で非常食を備蓄する際には、栄養のバランスも考えておくことが大切であるということを知りました。



**岡田さん** “災害時の食”については、全校生に伝える必要があると考え、各クラスで船高アクティブリーダーのメンバーが中心となって、伝達講習を行いました。

**吉田さん・石井さん・岡田さん** 今回の活動を通して、“日頃から備える”ことが大切であるということ、さらに、家庭での防災リーダーとして自分たちが活躍し、さらに地域を支えていくことが重要だと改めて感じました。講座を受講して、自分の身を自分で守る“自助”だけでなく、みんなで共に助け合う“共助”、さらには市などの公的支援である“公助”の3つが大切だと感じました。1年間を通し、さまざまな視点から防災についての知識を深めたので、地域に還元したいと考えています。

#### ◆県大会出場！

昨年12月に行われた福島県高等学校新人体育大会県南地区予選会で、県大会出場を決めた部活動を紹介します。

女子バレーボール部は地区予選で6位となり、県大会出場を決めました。夏の福島県高校体育大会出場に続き今年度2回目の県大会です。少ない人数の中で練習を工夫し、結果を残すことができました。また、バスケットボール部では、男子が4年ぶりの県大会出場を決めました。校内清掃などの奉仕活動に取り組みながら日々の練習を充実させることで、ようやく県大会へ出場することができました。



福島県立船引高等学校 Tel...0247-82-1511 Fax...0247-82-5233  
HP...<https://funehiki-h.fcs.ed.jp> mail...[funehiki-h@fcs.ed.jp](mailto:funehiki-h@fcs.ed.jp)



Allison Clay  
アリソン・クレイさん  
(アメリカ合衆国  
オハイオ州出身)  
田村市に来て4年目

## 「To Bean Someone」 節分

田村市に来て4年になります。田村市にずっと住んでいるように感じるときもあれば、来たばかりのように感じるときもあります。一年の中で季節ごとに行われるたくさんのお祝いや伝統行事に参加する時は、いつも新鮮さや特別な思いを感じます。節分は日本に来る前から少し知っていた行事でしたが、実際に見たことはありませんでした。アメリカにはこのような行事はないのでとてもめずらしく、楽しみました。



節分の豆まきに初めて参加した時、鬼に投げつける豆を少しもらうと、色とりどりの鬼に扮した幼稚園の職員が現れて驚きました。豆まきが始まると、多くの子どもたちは走り回って鬼に豆を投げつけようとしていま

したが、その一方で逃げ回って隠れようとする子どももいて、大きな喜びや恐れなどいろいろな感情が入り交じっている様子が見られました。豆を鬼に投げつけるのも楽しいようで、この日でなければできないとても特別な行事であることを感じました。節分の背景にある意味はすばらしいと思います。恐怖心や、鬼と向き合う良い方法はそれに正面から向き合うことです。ある意味、節分には心の治療のような効果があることが分かりました。それまでの自分の一年間の出来事や悪い事すべてを振り返し、豆を投げ戦うのです。それは、新しい一年を良いものにするための戦いで、必ず勝つことが決められています。英語には、人をたたくときに言う害のないおもしろい表現があり、「I'm going to bean you.」「つうこ目にあわせるぞ」と言います。節分に鬼に豆を投げつけて幸運を呼び込むことは、その英語の表現にぴったり当てはまるようです。

広告欄 Advertisement

## 有料広告募集中

問い合わせ…総務部 経営戦略室 (☎0247-81-2117) へ